

2012年度 事業報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

1 事業の成果

どこかの誰かができること、誰でもできることをやるよりは、当法人だけができる事業を開発し展開したいと考えています。昨年2012年12月に発生した、調布市学校給食・食物アレルギー事故により小学生5年生の女子児童が亡くなりました。このことをめぐり、学校関係者を対象とした様々な研修会が行われています。何もせず手をこまねいているよりは、少しでも学習したほうがいいのは事実です。しかし、現在の課題が研修会だけで解決しないのもまた事実であると思います。では、当法人に何ができるのか、この1年何をしてきたのかは、本報告書の各事業報告をお読みいただきたいと思います。調布市学校給食・食物アレルギー事故に限らず、多くの社会的課題について、解決するための試みがちゃんと社会にあたっているのか。解決に向かっているのかということ、検証・批評しながら今後も活動を行っていく予定です。

昨年に引き続き、東日本大震災で被災したアレルギー・災害弱者支援活動を行いながら、通常の事業や新たな事業を展開した1年でした。もう一つ別な仕事をしているような「ダブルワーク状態」はなくなりましたが、多くのお金と時間を使うことに変わりはありませんでした。復興に向かう以前の、貧困や生活困難という課題が顕在化せず深く静かに広がっていると感じます。被災後、新たな暮らしを展望できない方々がまだ多数います。福島第1原発事故の処理をめぐっても解決の糸口がなかなか見えません。当法人にできることは限られていますが、できることを実行していきたいと思っています。

昨年も書きましたが、電話相談窓口開設の意図を述べて各事業の報告とします。

「正しい解(答え)」がない相談を旨としています。かといって、ただ物事を相対化するだけではありません。相談活動は、自身で問題の解決に向かうための伴走者の役割しかできないだろうと考えています。「治療に合わせた患者」を作ることにはあまり意味がないとも思っています。本来的・根源的な意味で「マイノリティ(少数者)や困っている人に寄り添うこと」、「利他的」であることを本義として、様々な活動を今後も、模索し展開していきたいと考えています。

ここで記述しきれないことは、別な方法で報告していきたいと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
電話相談	<p>・電話相談窓口開設 アトピー・アレルギー性疾患などに関わる相談を受け、相談者に寄り添い暮らし方のアドバイスをした。「正しい答え」を伝えるのではなく、相談者が自身で判断するための伴走者として当法人の電話相談窓口はある。</p> <p>・集中電話相談／アトピーアレルギーホットライン：上記と同じ内容で、開設時間を延長した。</p>	<p>毎週2日間、 木金曜日開設 (休日、8月休 み) 11:00-12:00 13:00-15:00</p> <p>毎月第3木 曜日10:00- 17:00</p>	法人事務所	5人	アトピー・アレルギー性疾患、化学物質過敏症患者及び一般市民 600人 不特定多数	1,078
調査研究	<p>・アレルギーの子どもが直面する地域と暮らしの課題研究 助成：地域生活研究所</p> <p>・災害時におけるアレルギーの子どもをサポート体制の研究 助成：日本財団1</p> <p>上記2カ所よりの助成金を元に調査を実施。日常的な地域施設の活用状況を調べ、震災発生時の患者支援拠点となりうる場所について、地域との連携について検討。新たな防災ネットワーク構築の際の参考資料として、また、災害弱者支援のための仕組みづくりの際の基礎資料として活用することを目的として実施。</p> <p>調査票は被災地(福島県、宮城県、山形県及び避難者居住地)、首都圏(1都6県と山梨県)、阪神淡路大震災被災地(兵庫県)。アレルギー患者と非患者に配布。医療機関19施設、患者団体4の協力を得た。配布数2500部。回収数は567通</p> <p>『アレルギー・アトピー患者の「防災意識と日常生活行動」調査報告書』として頒布中。</p>	法人事務所	法人事務所	11人	不特定多数	2,551
	<p>・醤油の使用感調査 患者のQOL向上に資することを目的に実施した。かめびし協力事業。</p>	10月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	39

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
環境教育	・夏休み環境教育キャンプ 多くのボランティアと共に、自然と親しむための体感型環境教育プログラムを提供した。将来地域や仕事で患者を支援する立場になる、栄養士系、教員養成系、社会教育系、医療系の学生や社会人がボランティアとして参加。次世代ボランティアを育成するためのインキュベート企画でもある。また、東日本大震災で被災した患者家族10組31人(キャンセル前39人)を交通費を含めて無料招待した。 助成：JCIEメットライフアリコ社員寄付子ども支援プログラム	8月13日～15日、ボランティア・スタッフは前日から参加	神奈川県立藤野芸術の家 法人事務所	40人	アトピー・アレルギー性疾患患者とその家族及び一般市民100人	2,203
	・秋山プロジェクト 人と自然の共生、身体と環境の関係を、山梨県旧秋山村の当法人拠点とその周辺をフィールドとして実際に炭焼きや里山散策等体験し学習する機会を提供した。アレルギー患者でも安心して参加できる企画である。	4月～3月 *5月、8月、10月、1月にプロジェクト開催	山梨県上野原市 法人事務所	8人	不特定多数	146
情報提供	・アレルギー対応製品の販促提案協力 アレルギー対応製品を選択せざるをえない患者が安心して商品選定ができるよう協力した。また、アレルギーや商品に関わる動向についてリサーチを実施した。らでいっしゅぼーや協力事業。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	2,021
	・WEBサイト 食物アレルギー危機管理情報(FAICM)の運営 アレルギー混入事故食品に関する情報が、食物アレルギー患者に直接届く、Webサイトを運用した。市民と企業による公共知の創造を目指している。	4月～3月	法人事務所	6人	不特定多数	830
	・食物アレルギーに関わる情報誌制作と運営協力 アレルギー表示の問題を中心にアレルギー患者の暮らしを支援した。また、「任意表示検討会」や「交流会」の事務局を務めた。NPO法人食物アレルギーパートナーシップ協力事業。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	896

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・FAAA国際会議への参加 食物アレルギー団体の国際会議(FAAA = Food Allergy & Anaphylaxis Alliance)に参加し、欧米アジアオセアニアの食物アレルギー事情の情報交換を行った。NPO法人食物アレルギーパートナーシップ協力事業。	9月22日～28日	アメリカワシントンD.C. 法人事務所	4人	不特定多数	0
	・アレルギー電話相談員養成講座の開催 医療相談ではなく、個人的経験を伝える相談でもない、市民電話相談窓口の担い手の養成に着手した。助成：パナソニック	4月～12月	法人事務所 早稲田奉仕園	4人	講座参加者他、不特定多数	1,140
	・NPO運営に関するコンサルティング 中間支援事業やアレルギーに関する事業のコンサルティングを行った。NPO法人セカンドリーグ埼玉協力事業。	8月～3月	法人事務所 依頼者が指定する場所	3人	不特定多数	51
	・携帯サイト「eQOL(イコール) スキンケア」協力 アトピー性皮膚炎患者向け有償携帯サイトへコラム執筆等。ネクスト協力事業。	4月～3月	法人事務所	2人	不特定多数	0
	・里親里子応援プロジェクト 育児放棄、虐待などで、親と一緒に暮らすことができない子どもを受け入れる里親・ファミリーホームと、子ども・里子の暮らしを支援するプロジェクト。夏休み環境教育キャンプへの無料招待や施設管理者からのアレルギー相談に応じている。また、この問題を広く社会的に認知してもらえるよう情報提供も行った。	4月～3月	法人事務所 ファミリーホーム所在地 神奈川県立藤野芸術の家	8人	ファミリーホームの施設管理者と子ども 不特定多数	0
	・相談データベースの構築 電話相談内容を記録集計し、広く社会化するためのデータベースの構築作業を行った。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	252
	・アレルギー・災害弱者のための災害支援コーディネータ養成プログラムの開発 疾患や障害、災害弱者のための人材育成支援プログラムを開発した(実際の講座開催は2013年4月～5月)。	4月～3月	法人事務所	2人	不特定多数	265

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・I型値糖尿病患者組織との災害支援共同ポスター作成 東日本大震災を教訓に、糖尿病とアレルギー患者が被災した際の支援ポスターを作成した。 NPO法人日本IDDMネットワーク協力事業	4月～3月	法人事務所	2人	不特定多数	0
	・福田敏雄うるし展の開催協力 食の隣接領域としての器の展示と普及をとおして、食文化について学ぶ機会を提供した。	5月14日～16日	ゆうど(東京都新宿区)	7人	来場者他、不特定多数	140
	・アトピッ子地球の子ネットワーク設立20周年記念事業 発足20周年を記念してその活動を振替入りとして、調布市学校給食・食物アレルギー事故のことや、住まいと人の暮らしについての講演会と立食交流会を行った。	2月10日	ワンネスGAホール(東京都北区)	10人	不特定多数	74
	・原稿執筆 書籍への執筆参画、紙媒体依頼原稿執筆等、広く情報提供を行った。	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	155
	・執筆書籍の頒布 当法人が執筆した、『アトピー・アレルギー克服応援ブック』(合同出版)、『花粉症がラクになる』(コモンズ)、他執筆参画書籍を頒布し、広く情報提供を行った。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	17
	・ホームページの運用 活動内容の紹介等、広く情報提供を行った。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	124
	・情報センター機能 マスコミ取材協力、企業・団体よりのインタビューや情報提供、大学院生の論文協力等。また、各種情報誌、学会誌、書籍等を閲覧に供した。	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	0

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	・講師派遣 企業、団体等にアトピー・アレルギー性疾患と患者実態、調布市学校給食・食物アレルギー事故、災害支援活動等に関する情報を提供した。	4月～3月 25回(当法人主催イベント8回は除く)	依頼者が指定する会場	3人	不特定多数	380
災害支援	・東日本大震災で被災したアレルギー・災害弱者支援活動 東日本大震災で被災した、食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎、化学物質過敏症などの患者とその家族、乳幼児、子ども、子どもの保護者、妊婦、高齢者、疾患のある人などの、いわゆる災害弱者の支援活動を行った。復興以前の貧困や生活困難が課題であった。 物資の無償送付(食品、石けん洗剤等の日用品、喘息患者用のネブライザー等)。約190件送付。 ボランティア山形が運営する「10円バザー」に白米1,800kgを無償提供した。 福島原発事故から県外避難し山形県米沢市に居住する被災者達を、首都圏の市民が支えあう被災者支援プロジェクト「おしゃべり市場in東京タワー」を開催した。 ☐電話相談窓口を開設した。 一部中央共同募金会助成事業として実施。	4月～3月 6月4日「おしゃべり市場in東京タワー」開催 ボランティア山形が米沢市で運営する被災者・避難者向け「10円バザー」は、4月22日、5月13日(宮城県東松島市)、6月17日、8月5日、9月30日、12月2日開催。 11月9日に米沢市で患者増加交流会開催。	法人事務所及び物資中継点(倉庫) 被災地域及び避難者所在地 東京都港区 山形県米沢市	25人	不特定多数	4,759
	・神奈川県逗子市と災害支援協定を締結 大規模災害発生時に、アレルギー用物資を当法人が手配して搬送。逗子市は後日物資を購入。市内受け入れ先の確保や通行証等の発行を行う。備蓄ではない災害支援の形である。	4月～3月	法人事務所 逗子市役所	4人	不特定多数	5
人材育成	・研修・実習生や事務所業務ボランティアの受け入れ JCB社のボランティア、パルシステム連合会の研修生、女子栄養短大・日本体育大学の実習生を受け入れた。	4月～3月	法人事務所	3人	当該組織15人	0